

支援機関のネットワークを活かした商品化、販路開拓支援

事業者	支援機関	
アロマ空間デザイン株式会社	山口県よろず支援拠点	山口銀行

企業の概要

平成21年に創業し、山口県産夏みかん、ヒノキといった天然素材を使用したアロマ（香り）オイルの製造・販売、アロマを活かした空間演出を行っている。セミナーやスクールの開催などで裾野の拡大を図っている。

支援の概要

◆ 支援の経緯

地元の天然素材を使用するオリジナルアロマオイルの商品化を、従前から支援を受けていたコーディネータが在籍する山口県よろず支援拠点に相談。また、“香り”の空間演出を山口銀行の窓口支店に提案したことをきっかけに、山口銀行の支援も始まる。支援機関それぞれのネットワークを活かした商品化、販路開拓が成果をあげる。

◆ 経営課題へのアプローチ

①商品化から販路開拓まで一貫した支援（よろず支援拠点）

地元素材の安定調達先の確保のため、これまで培ったネットワークを活かして夏みかん生産者、木材業者を紹介し、素材調達先を決定。

商品化にあたっては販売価格体系についてのアドバイスや成分分析、市場調査や商品開発、販路開拓のための助成金紹介、申請支援を実施。高速道路サービスエリア（SA）での物販業者への営業活動など販路開拓まで一貫して支援。

②県外にまで広がる取引先ネットワークを活かした販路拡大支援（山口銀行）

地元温泉組合理事会での紹介により、温泉宿エントランスの空間演出とオリジナル製品販売が実現。取引先同士のビジネスマッチングに取り組む同行のネットワークで県内外の大手小売店での取り扱いが広がっている。

◆ 支援成果

①山口県産の天然素材を使ったオリジナルアロマオイルの商品化

②高速道路SAでの販売好調（お土産女性売上No.1）

③温泉宿エントランスの“香り”を演出。要望を受け、オリジナルアロマオイルを商品化

注目ポイント

◆ 成功体験を積み重ねによる事業者の成長支援

課題を一つ一つ解決して、事業者に成功体験を積み重ねてもらうことにより、事業者の自信と積極性を引き出すことを意識（よろず支援拠点）。

◆ 地域の活性化を目指し、地元中小企業と県外企業のマッチングに注力

支援機関の持つネットワークを活かして、県内外の販路開拓を積極支援。

グループ全体で取引先大手企業のニーズを中小企業と橋渡しする取り組みを意識（山口銀行）。